

大原中だより

楽しく、力がつく授業が
始まっています

校長 中島 俊尚

4月11日、1年のスタートにあたり、私は本校の教職員に次のような授業をしてほしいとお願いしました。
①生徒との信頼関係がしっかり築かれている ②授業のねらい、目標をはっきりしている ③生徒の興味・関心、やる気を高めるための工夫がある ④授業のねらいに迫る価値ある活動の時間がたっぷりとられている ⑤生徒一人一人に応じている(個に応じている) ⑥学習への満足感・達成感がある この6つは私自身の経験から生み出したよい授業の条件です。教員生活を始めて37年、そのうち11年間を教育委員会で過ごしました。辛く多忙な日々が続きましたが、小・中学校を訪問し、たくさんの授業を参観できたことはたいへん勉強になりました。年間200本以上の授業参観を通して、私はよい授業には共通点があることに気づきました。それが先ほどの6つです。授業のオリエンテーションが始まったころ、この6つを意識しながらの校長による教室訪問もスタートさせました。3年生も2年生もそして1年生も温かく迎えてくれてうれしく思っています。どの教室も生徒と教科担当の教員との信頼関係が着実に築かれており、さすが大原中学校と感心しています。これからどんどん楽しく、力がつく授業が始まります。

4月15日付で「確かな学力向上のための保護者用リーフレット」を配付させていただきました。本年度からこのリーフレットにあるように「『よい授業』の4つのポイント＝授業マネジメント、基礎アップ、授業スキル、アクティブ・ラーニング」をもとに教員自身が授業改善を図り、生徒の学力向上を目指すことになっています。保護者のみなさまにおかれましては、本校の〈確かで豊かな学び〉を目指した学力向上の取組にご期待いただくとともに、リーフレットにあるようにご家庭でも学力向上の取組(家庭学習のすすめ、生活習慣の改善など)をよろしく願いいたします。

さて、私も前校長と同じように、可能な限り毎朝、大原中橋のところに立ち、登校する生徒を笑顔で迎えようと思っています。私にとっての朝のあいさつ運動です。このあいさつ運動での私のこだわりは ①生徒より早くあいさつをする ②目と目を合わせてあいさつをする ③笑顔であいさつをする の3つです。少しずつですが気持ちのよいあいさつをしてくれる生徒も増え、そんな生徒には『ありがとう』と言葉を添えるようにしています。また入学式の1年生の「はい」という返事もすばらしく感動したと来賓のみなさまからお褒めの言葉をいただきました。ご案内の通り、さいたま市では学校・家庭・地域・行政が連携・協力して「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもの育成を目指しています。あいさつと返事は、そのコミュニケーションの第1歩と考えます。コミュニケーションを発信と受信の相互交流と考えるなら、あいさつは発信の第1歩、返事は受信の第1歩と考えるからです。大切なあいさつと返事について、ご家庭の力も借りながら今後も粘り強く取り組んでまいります。

結びに、この3月末に行方不明であった埼玉県内の女子中学生が無事保護され、個人情報特定される恐れのある名札や記名された持ち物の登下校時の扱いについて学校でも検討してきたところですが、名札は登下校中はずしておくことで徹底していますが、これまで部活動の顧問の指示があれば可となっていた、本校のジャージや体育着で登下校することについては、当面の間、生徒の安全を考慮し制服での登下校を徹底することといたしました。なおこの件については別に通知を配付させていただきました。何卒ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。